

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

久末小学校では、「共に笑顔で輝く学校をめざして」を学校教育目標として、

【やくそくを守る子】 【根気よく学ぶ子】

【思いやりのある子】 【からだを大切にする子】

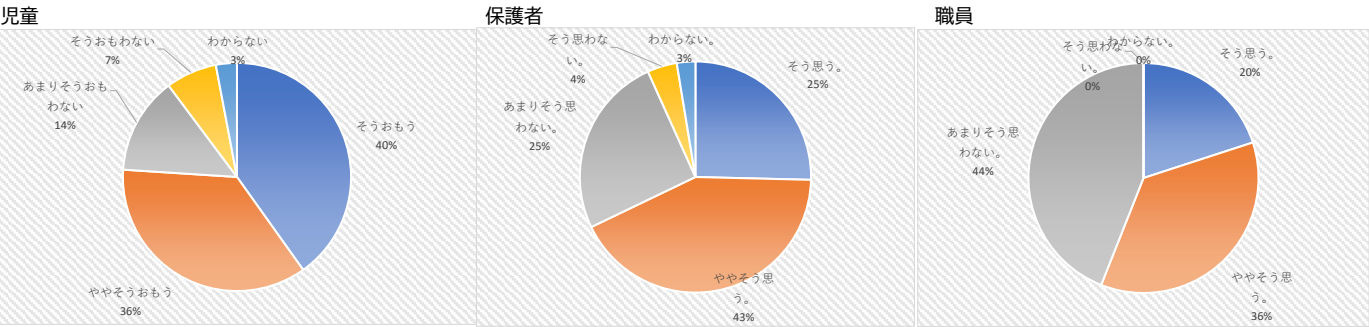
の育成を念頭に、日々の教育活動を進めています。

子どもたちや保護者の皆さまの回答、また教職員の反省をとり入れながら、アンケート結果の説明、また考察をさせていただきます。

*「そう思う」「ややそう思う」を肯定的回答、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的回答として、考察させていただきます。

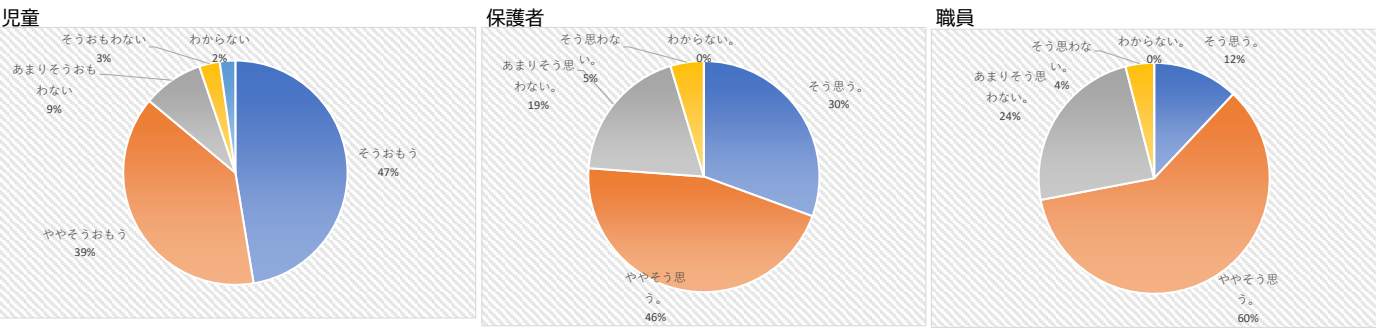
【やくそくを守る子】

①自分（じぶん）から すすんで あいさつを している。



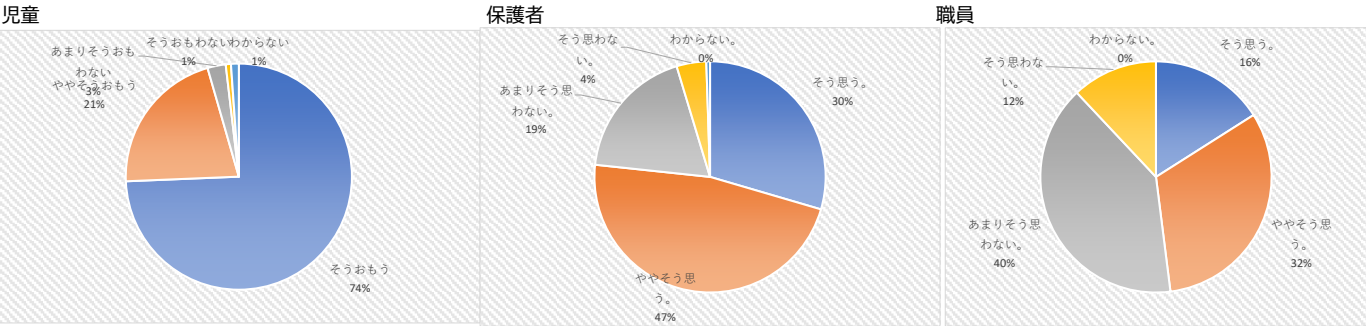
子どもたちの肯定的な回答率は約80%で、昨年度から引き続きよい回答率だととらえています。全校であいさつしていこうとする姿勢が定着しているようです。保護者の皆様からも昨年度に引き続き、7割ほどの肯定的な回答があり、ご家庭でも積極的に声掛け等していただき、スムーズにあいさつができる環境をつくってくださっているのだな、と感謝しています。学校でも、引き続き積極的にあいさつできる環境づくりに努めていきたいと思ひます。

②時間（じかん）を守（まも）って生活（せいかつ）している。



86%の子どもたちが「時間を守ること」の大切さを自覚しています。ふだんの学校生活では、ノーチャイムで時計や放送を意識して行動できている子どもたちです。学校全体で言われて動くのではなく、時計を見て自分で判断して行動する姿もあちこちで見かけます。今後も時間を意識して行動している姿を価値づけていきたいと思います。保護者の皆様からは76%の肯定的な回答をいただきました。子どもたちは、学校での指導だけではなく、家庭生活でも時間を守ることの大切さを学んでいることがうかがえます。これからも学校と家庭が同じ価値観をもって一緒に子どもたちの成長を喜ばれたいと思います。

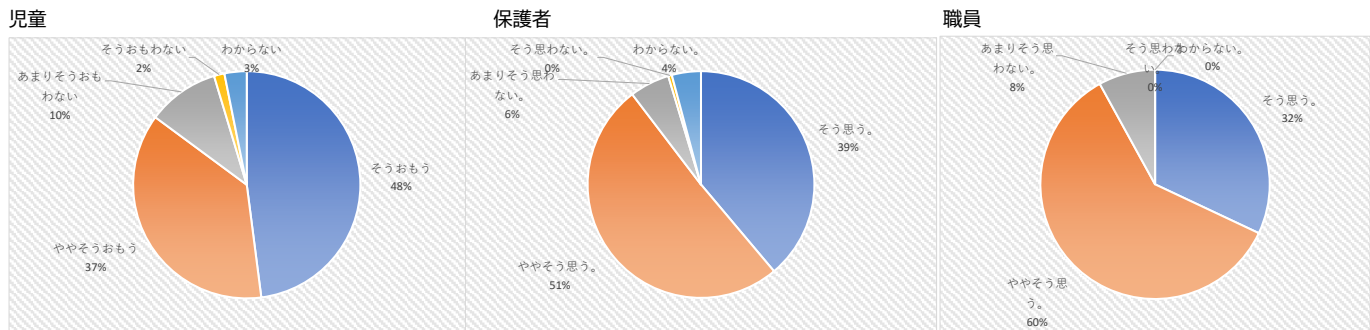
③自分（じぶん）の持（も）ち物（もの）やみんなで使（つか）うものを大切（たいせつ）にしている。



子どもたちの肯定的な回答率は96%でした。特に学校生活の中で、みんなで使う教材やボールなどの遊具を大切に使っている様子が見られます。約80%の保護者の皆様から肯定的な回答をいただいていることと合わせて、多くの大人たちが子どもたちがものを大切にしていることを認めています。これからも引き続き、「もの」を大切にできる環境づくりに努めていきます。

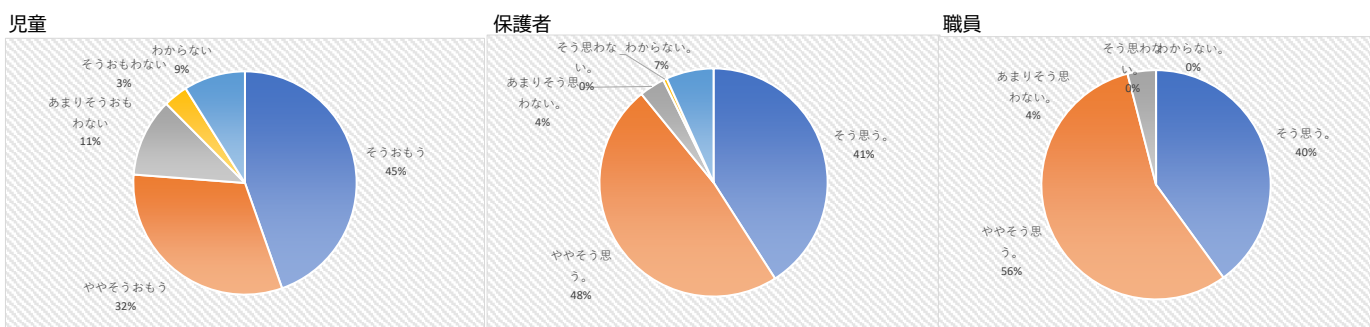
【思いやりのある子】

④友達（ともだち）のよさを 見（み）つけたり、困（こま）っている人に やさしく声（こえ）をかけたりしている。



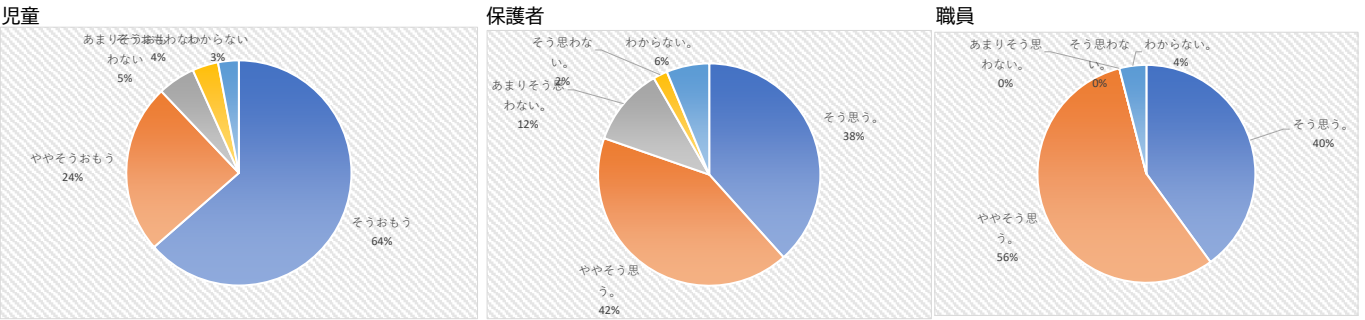
子どもたちの肯定的な回答率は85%、保護者の皆様からは90%でした。この値は昨年度とほぼ同値でした。子どもたちは、年間6回の「共生＊共育プログラム」の時間に「仲間への誘い方・入り方」「あたたかい言葉かけ」「相手の気持ちを理解した働きかけ」等、人とのかかわり方を学んでいます。そこで学んだスキルを日常生活の中でさらに高めて、よりよい人間関係の形成につなげていけるようこれからも指導していきたいと考えています。

⑤一生懸命（いっしょうけんめい）に取（と）り組（く）んだことを 友達（ともだち）や先生から認（みと）めてもらえている。



子どもたちの肯定的な回答率は85%でした。開きが見られた保護者の皆様と教職員の回答率の差は昨年度より小さくなってきました。④の結果から（85%の回答率）、「自分たちは友達には声をかけている」と思っているものの、自分はそうされていないという感覚が依然あるのだろうと思われます。「協働的な学びの充実」には欠かせない心持ちの一つだと考えていますので、これからもかかわり方を慎重に見つめていき、的確な支援をしていこうと思います。

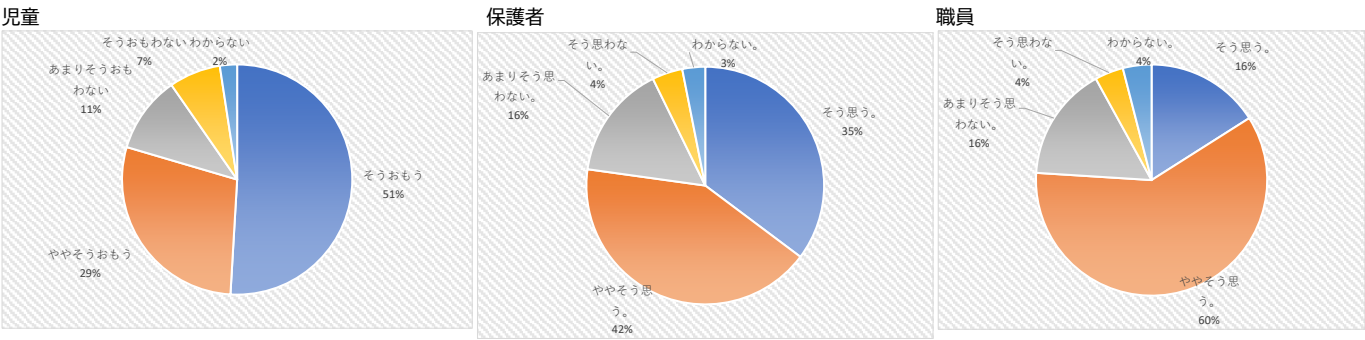
⑥困（こま）ったときに相談（そうだん）できる友達（ともだち）や先生が いる。



子どもたちは、８８％と昨年度に引き続き肯定的な回答率でした。多くの子どもたちが安心して学校生活を送れていることがうかがえます。しかし１０％の子どもたちが否定的な回答をしていて、「みんな」が安心できているのではない現状を受け止め子どもたちにとってさらに相談しやすい環境整備に尽力していききたいと思います。

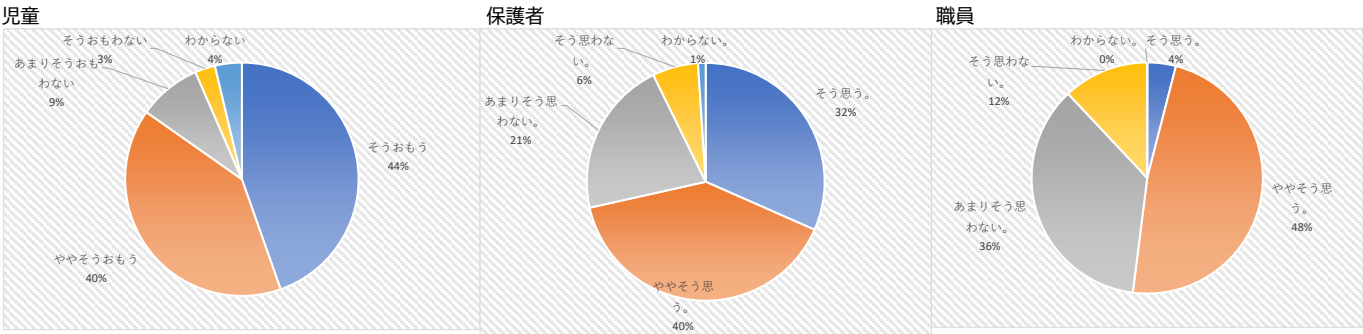
【根気よく学ぶ子】

⑦学校での学習（がくしゅう）が楽（たの）しい。



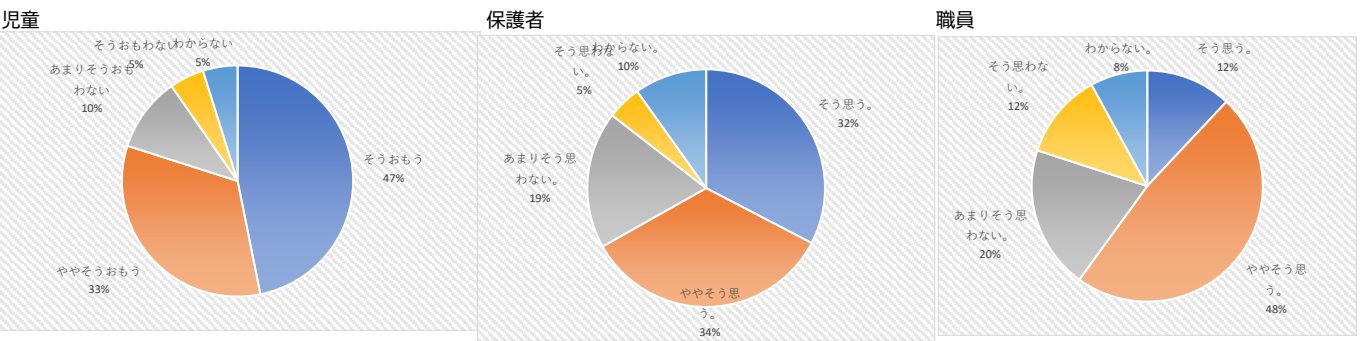
子どもたちの肯定的な回答率は８０％で、昨年度とほぼ同様の結果となりました。学習した内容の定着については、学校ＨＰでお知らせしているようにあまり、芳しい状況ではないようですが、子どもたちの学習に向かうとする気持ちは毎年少しずつ高まってきているように感じています。これからも様々なこととのかかわりを楽しみながら学習を進めていけるよう、研修研鑽に努めていきます。

⑧学習（がくしゅう）内容（ないよう）が だいたい理解（りかい）できている。



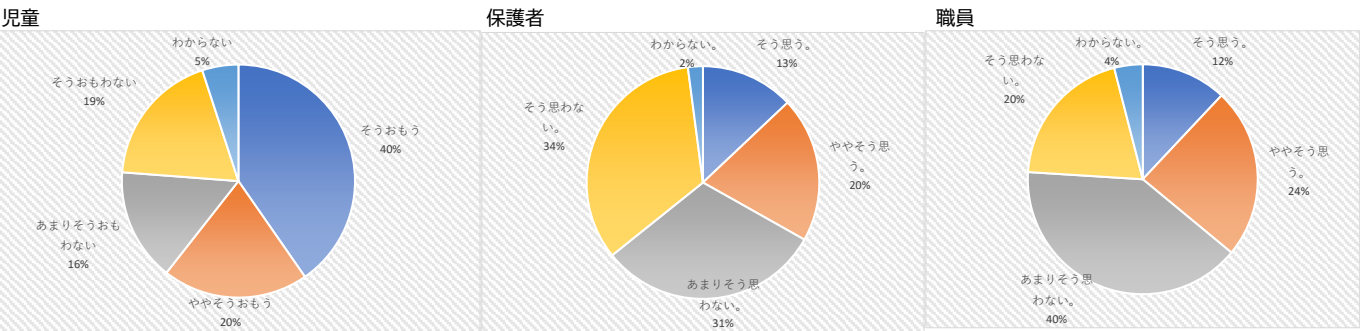
子どもたちの肯定的な回答率は84％でした。保護者の皆様からの回答は7ポイント下がって72％です。教職員の回答が48％と決して高い水準ではありませんが、昨年度と同様の結果が見られました。校内研究を通して授業の在り方を研修し子どもたち一人一人に合った指導を行うことが徐々にできてきたのではないかと考えています。16％の子どもたちが否定的な回答をしている事実は昨年度から引き続いていますので、さらに個々に応じた指導ができるよう指導の工夫を進めていきます。

⑨Mタイム（えむたいむ）や久リンピック（ひさりんぴっく）で、言葉（ことば）や計算（けいさん）の力が伸（の）びている。



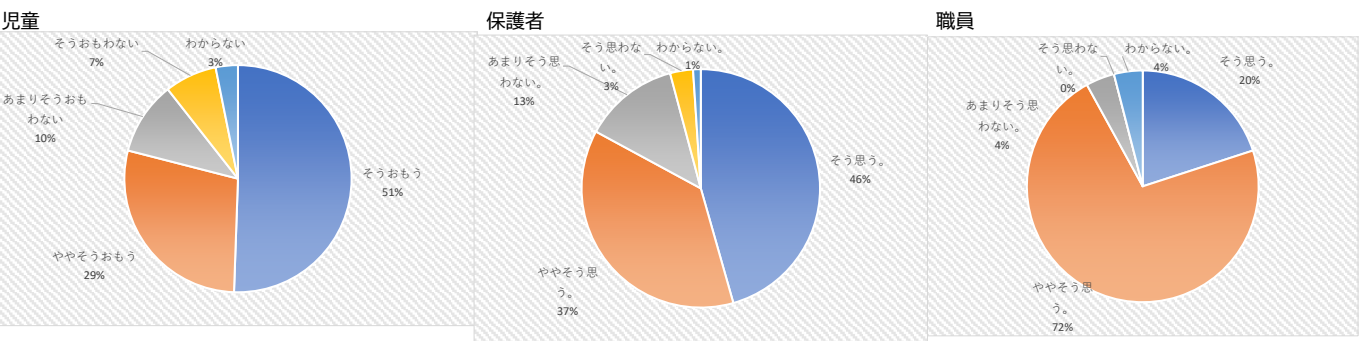
80％の子どもたちが肯定的な回答をしています。今年度も子どもたちは根気よく取り組んでいると思います。この頑張りが結果となり、自信につなげていけるよう、粘り強く指導していきたいと思います。また、今年度も10％（昨年度比－1％）の保護者の皆様が「わからない」と回答されています。学年・学級懇談会でも「Mタイム」「久リンピック」の取組の様子を伝えていきたいと思います。

⑩読書（どくしょ）がすき。



肯定的な回答率は昨年度の 58 % に対し、今年度の子どもたちは 60 % でした。本校では司書教諭や学校司書が中心となり、図書ボランティアさんのご協力をいただき、図書環境の充実に努めています。また、地域の方々による「読み語り」も継続しています。その他にも図書委員会の児童による読み聞かせの活動にも取り組みました。これからも各教室で行われている週 1 回の読書タイムの充実に今後も進め、心を豊かにし心の栄養を増やしてくれる読書活動を大切にしていきたいと思います。保護者の皆様からも「もっと本が好きになる」ためのアイディア等ありましたら、お知らせいただけますと幸いです。

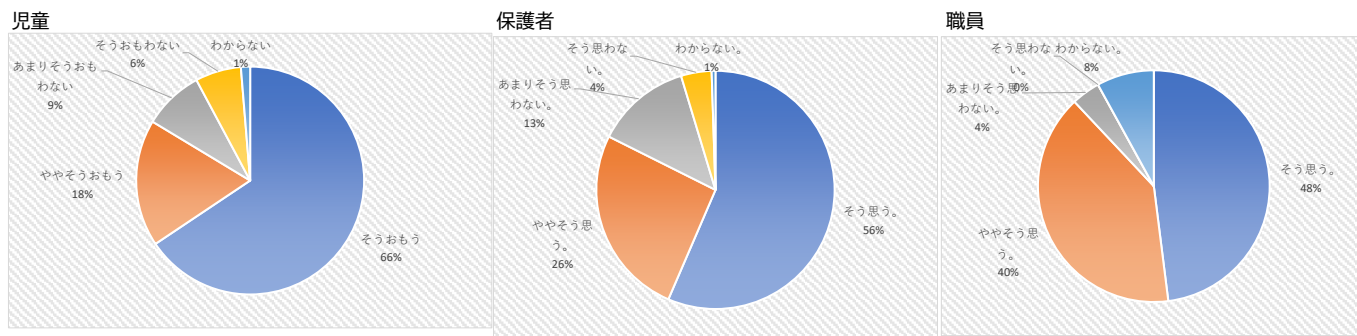
⑪学校に行（い）くことが楽（たの）しい。



子どもたちの肯定的な回答率は 80 % でした。保護者の皆様からの回答率も 83 % とほぼ同じです。日常の大半を過ごす学校が子どもたちにとって「楽しい」という場所ではなくてはなりません。否定的な回答率が 17 %（保護者は 16 %）という現状を真摯に受け止め、来年度にむけての改善点を明らかにしていくべく検討を進め、学年や諸行事の取組などを見直し、反省を重ねているところです。今後も保護者の皆様や地域の皆様の力をお借りしながら「明日も楽しみな学校」を目指し、改善に努めていきます。

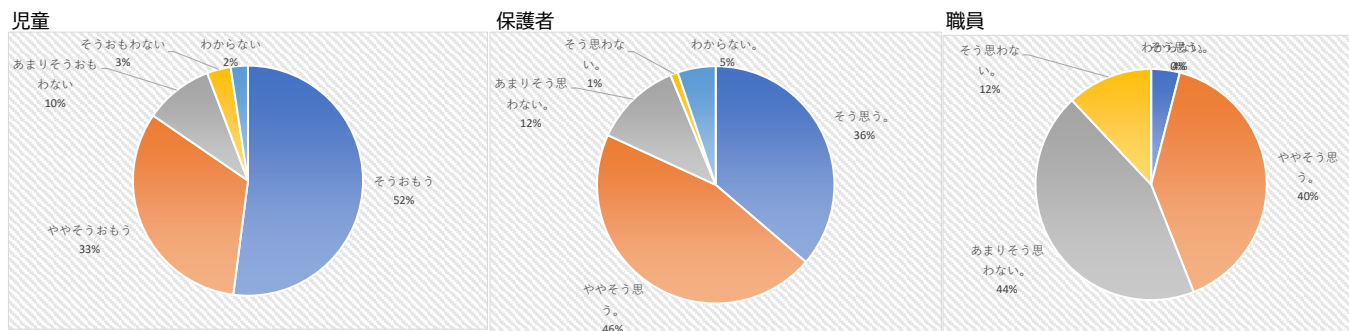
【からだを大切にする子】

⑫運動（うんどう）したり、体（からだ）を動（うご）かしたりすることが すき。



子どもたちの肯定的な回答率は84%でした。保護者の皆様からも82%という回答をいただきました。「運動することが好き」という子どもが多いことがわかります。運動が好きな子どもがさらに増えるよう、今年度は年間3回の「キラキラタイム」を設定しました。スポーツ委員会の児童が中心となって、楽しく体を動かす集会を中休みに計画しました。この活動をさらに充実させられるよう、これからも指導を工夫していきたいと考えています。

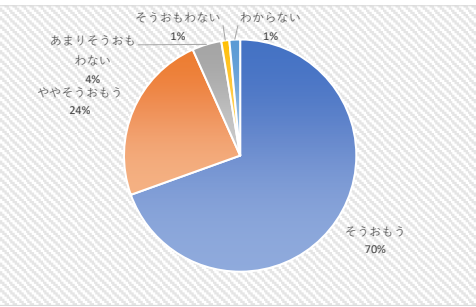
⑬廊下（ろうか）や階段（かいだん）の歩行（ほこう）など、安全（あんぜん）に気（き）をつけている。



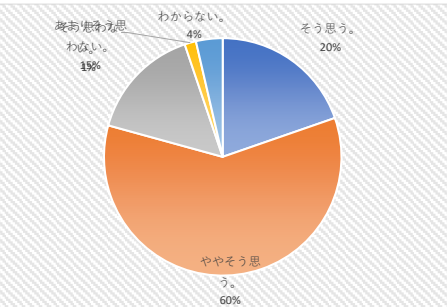
85%の子どもたちが「安全に気をつけている」と回答しています。保護者の皆様も82%と高い肯定的な回答率です。今年度も廊下や階段の歩き方について学年集会の中で話題になり、自分たちで気をつけられるよう、ポスターをつくって掲示するような活動があった学年もありました。このように自分たちで問題を解決していこうとする姿勢をうれしく思っています。登下校時の様子については、地域の方からご意見をいただくこともあります。これからもルールを守っているところは大いに認めながらも、そうではないところについては指導を継続していきます。

⑭火事（かじ）や地震（じしん）などに あったら、どのように 対応（たいおう）したらいいか 知（し）っている。

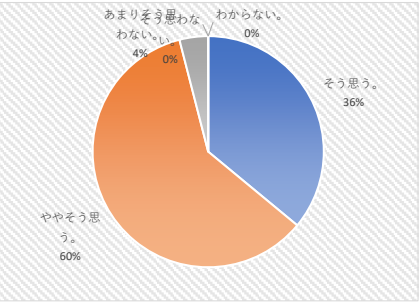
児童



保護者



職員



子どもたちの肯定的な回答率は94%でした。年6回の避難訓練の際、約束をしっかり守っている子どもたちです。自分の身を守るためにどのような行動をすればよいかを自分で正しい判断ができるよう、これからも指導していきたいと思います。実際の災害時に（あってほしくありませんが）、学校での訓練を学校外でもいかせるような視点を大切にしていきたいと思っています。

